

きょういく
[教育]

	ない 内 よう 容	かい ぜん ほう さく 改 善 方 策	しょうがいしゅべつ 障 害 種 別
1	しょうがっこう ちゅうがっこう こうとうがっこう にゅうがく さい なに 小 学 校 ・ 中 学 校 ・ 高 等 学 校 の 入 学 の 際、「何 か あつたときに困るから」といって、入 学 拒 否 された。高 等 がっこう 学 校 に いたつては「た と え 試 験 で 合 格 点 あつても 不 合 格 に す る」といわれた。	がっこうがわ と う じ し ゃ が わ は な あ 学 校 側 と 当 事 者 側 が 話 し 合 い に よ る かいけつ そうだん だいさんしゃきかん 解 決 の た め、相 談 で き る 第 三 者 機 関 を と どう ふ け ん し ち ょ う そ ん お 都 道 府 県、な い し 市 町 村 に 置 く べ き。	したい 肢 体
2	ちてきしょうがい おとうと こうりつこう ふつうがっこう はい 知 的 障 害 の あ る 弟 が 公 立 校 の 普 通 学 校 に 入 り た い と言つたら、親 の つ き そ い を 求 め ら れ た。		ちてき 知 的
3	た しょくざい かぎ にゅうがくまえそうだん 食 べ ら れ る 食 材 が 限 ら れ る の で、入 学 前 相 談 で は べんとうじさん きよか う にゅうがくしき こうちょう 弁 当 持 参 の 許 可 を 受 け て い た が、入 学 式 の あ と 校 長 の いどう べんとう 異 動 に よ り お 弁 当 は だ め に な っ た。	さいど がっこう たんにん つう はな あ 再 度、学 校 に 担 任 を 通 じ て 話 し 合 い を ねが お 願 い す る。	はつたつ こうじのう 発 達 ・ 高 次 脳
4	ちょうかくしょうがいじ にんくらす じゅぎょう う 聴 覚 障 害 児 が 30 人 クラ ス で 授 業 を 受 け て い る が、 しゅわ ひつだん じゅうぶん こみゆにけーしょんほしょう 手 話 や 筆 談 な ど 十 分 な コ ミ ュ ニ ケー シ ョ ン 保 障 が な く、わ か ら ない ま ま 学 校 生 活 を 送 っ て い る。先 生 も 聴 覚 障 害 じ り かい と ぼ ひび ぎょうむ お こべつ 児 の 理 解 が 乏 し く、日 々 の 業 務 に 追 わ れ な が ら、な か な か 個 別 たいおう げんじょう 対 応 が で き ない 現 状 が あ る。		ちょうかく へいこうきのう 聴 覚 ・ 平 衡 機 能
5	だいがくじゅけん しきじゃくしゃ おお りけいがくぶ おうぼしかく 大 学 受 験 で、色 弱 者 は 多 く の 理 系 学 部 で 応 募 資 格 が な い。		

6	<p>がっこうようちぶ なんちょうがつきゅう きゅーさいん つか ろう学校幼稚部や難聴学級ではキューサインが使われる が、キューサインで曖昧な口話でのコミュニケーションに頼るので はなく、自分の考えを自由に発言したり、感情豊かに表現 できる手話の必要性も考えるべき。</p>	<p>なんぶ せんもんきかん じゅうじつ じんざいくせい 南部での専門機関の充実、人材育成</p>	<p>ちょうかく へいこうきのう 聴覚・平衡機能 しえんしゃ (支援者)</p>
7	<p>こうちょう たんにん せんせい こ じょうたい せつめい 校長と担任の先生に、子どもの状態を説明しておい たのに、先生からつまはじきにされた。(適就では普通学級 が適当と返事はもらったのに)</p>		<p>ちてき 知的</p>
8	<p>くるま じかんはん しえんがっこう かよ ふたん 車で1時間半もかかる支援学校に通わせるのは負担が おお 大きい。</p>	<p>やましろちいき がっこうない こう よ 山城地域の学校内に1校でも良いので しょうがい あ がつきゅう ひつよう 障害に合わせた学級が必要！</p>	<p>ちょうかく へいこうきのう 聴覚・平衡機能 ちてき かぞく 知的(家族)</p>
9	<p>しょうがっこうにゆうがくとうしょ ぷーるがくしゅう さい ほちょうき 小学校入学当初、プール学習の際には補聴器を はず おや つ そ ぷーる なか い 外すので親の付き添いがないとプールの中には入れさせないと がっこうがわ い 学校側から言われた。</p>		<p>ちょうかく へいこうきのう 聴覚・平衡機能 ちてき かぞく 知的(家族)</p>
10	<p>しょうがっこう ともだち おな け ごむ と と 小学校で、友達と同じ消しゴムを盗った盗られたのもめご とがあった。聞こえない娘と先生と友達ときちんと話し合う ばあい こども じょうほうほしょう ひつよう 場合は、子供でも情報保障が必要。</p>	<p>だいさんしゃてき たちば しゅわつう やくしゃ 第三者的な立場の手話通訳者か ようやくひつきしゃ がっこう なか はけん 要約筆記者が学校の中にも派遣。</p>	<p>ちょうかく へいこうきのう 聴覚・平衡機能 かぞく (家族)</p>
11	<p>しきょういくいいんかい えふえむほちょうき びひん ようい い 市教育委員会でF M補聴器を備品で用意すると言って おいて、実際には3ヶ月(1学期中)用意せず、ほったらかし にした。</p>		<p>ちょうかく へいこうきのう 聴覚・平衡機能 かぞく (家族)</p>

12	<p>ほんにん かぞく なんちょう がつきゅう ようぼう なんちょう 本人も家族も難聴学級を要望しても難聴</p> <p>がつきゅう せっち 学級を設置してくれなかった。</p>		<p>ちょうかく へいこうきのう 聴覚・平衡機能</p> <p>かぞく (家族)</p>
13	<p>ちいき がっこう しょうがいじ う い たいせい せんせい いしき 地域の学校で障害児を受け入れる体制、先生の意識が</p> <p>ととの ため せいと しどう 整っていない。その為に生徒への指導ができず、いじめにあい、</p> <p>ようごがっこう い い 養護学校へ行けと言われた。</p> <p>しがく こうこう しゅうがくりょこう さんか い 私学の高校では、修学旅行に参加できないと言われ、</p> <p>さいしゅうてき じひ ほっかいどう おや つ そ 最終的には自費で北海道まで親が付き添うことになった。</p>	<p>のーまらいぜーしょん きょうせい いしき ノーマライゼーションや共生の意識、</p> <p>しょうがいしゃ せいかつ りかい きょう 障害者の生活のしずらさの理解を教</p> <p>いく ば しどう 育の場で指導する。</p>	<p>したい かぞく 肢体(家族)</p>
14	<p>きょうとふなんぶ く ちょうかく しょうがい こ 京都府南部に暮らす「聴覚に障害のある子ども」は、</p> <p>りょういく せんもんきかん かよ せんもんきかん 療育のために専門機関に通うが、専門機関があるのは、</p> <p>きょうとしない うじしいなん やましろちいき こ ほごしゃ かたみち 京都市内。宇治市以南の山城地域の子どもと保護者は、片道</p> <p>じかんいじょう とお ひと おおむ じかん かよ 1時間以上(遠い人は概ね2時間)かけて通っている。</p>	<p>なんぶ せんもんきかん じゅうじつ じんざい 南部での専門機関の充実、人材</p> <p>いくせい 育成</p>	<p>ちょうかく へいこうきのう 聴覚・平衡機能</p> <p>しえんしゃ (支援者)</p>
15	<p>う じもと がっこう う い しょうがいべつ 生まれた地元の学校に受け入れてもらえない。障害別に</p> <p>きょういくしせつ ぶんり う ちいき わす 教育施設が分離され、生まれた地域で忘れられている。</p>		
16	<p>こうこうにゆうしじ しせつじょう りゆう にゆうがく ことわ 高校入試時に施設上の理由で入学を断られた。</p>		
17	<p>しょうがっこう じかん うし さ つくえ もど 小学校で、そうじの時間に後ろに下げた机を戻そうとし</p> <p>こ たんにん もど ちてきしょうがい た子どもに担任が「戻さなくていい」としかつた。知的障害の</p> <p>おとうと きょうしつ い つくえ 弟が教室に行くと、机がなかった。</p>		<p>ちてき 知的</p>
18	<p>しゅわきょういく ようぼう しゅわいがい ほうほう 手話教育してほしいと要望したが、手話以外の方法も</p>		<p>ちょうかく へいこうきのう 聴覚・平衡機能</p>

	ひつよう 必要だからと言われて、学校で手話を使えない。		
19	ちやうなん かよ 長男の通っていた中学は荒れており、校長先生に せきにん も 「責任は持てない」と言われたことはショックだった。		ちてき かぞく 知的(家族)
20	がっこう ふくし じゅぎょう たいけんだん はな とき しゅわいこーる 学校の福祉の授業で体験談を話した時、手話 = ちやうかくしょうがいしゃ 聴覚障害者ではないということを伝えたくて話をしている るにもかかわらず、手話を教えて欲しいと強く要請された。	ふくし じゅぎょう しゅわ いろいろ 福祉の授業では手話だけでなく、色々 こみゆにけーしょんほうほう ちやうかくしょうがい なコミュニケーション方法で聴覚障害 しゃ せいかつ 者は生活していることを伝えるべき。	ちやうかく へいこうきのう 聴覚・平衡機能
21	こうこうじゅけん ふごうかく りゆう しょうがい ほいくえん 高校受験の不合格の理由が障害だった。保育園から ちゅうがく がっこう きょういくいいんかい はんたい はい 中学まで学校と教育委員会の反対でなかなか入れず、 おや つ そ じょうけん にゅうがく きよか 親が付き添うことが条件で入学を許可された。		したい 肢体
22	しょうがいじ どうそうかい さそ 障害児には同窓会の誘いもない。 しょうがいじ も きょうだいしまい がっこうがわ こころ けあー 障害児を持つ兄弟姉妹にも学校側は心のケアや こころくば 心配りをしてほしい。		ちてき かぞく 知的(家族)
23	しきしんけんさ せきりよくしきじゃく い せんせい くん 色神検査で「赤緑色弱」と言われ、先生に「〇〇君は あか みどり み みどり あか み じゅぎょうちゅう い 『赤が緑に見え』、『緑が赤に見える』と授業中に言わ れた。それ以降「変人」と言われた。	けんさ せんせい たんにん せんせい しきかく 検査する先生も担任の先生も色覚の こと ただ りかい しどう 事を正しく理解してから指導すること。	しかく 視覚 しきかくしょうがい 色覚障害
24	くらす そつぎょうしき そうべつかい さそ クラスの卒業式の送別会に誘われなかった。		ちてき かぞく 知的(家族)
25	しょうがっこうそつぎょう はるやす せんせい あ い 小学校卒業して春休みに先生に会いに行くという き、誘ってくれなかった。		ちてき かぞく 知的(家族)

26	<p>こうこう じゅうどう じかん りょうあし けつそんぶぶん ばか 高校の柔道の時間に、両足の欠損部分をバカにされ、 つよ な と くび し ころ じゅうどうたんとう 強く投げ飛ばされ、首を絞められ、殺されかけた。柔道担当 きょうし うつわ ちい まえ すべ わる わたし せきにん の教師は「器が小さいお前が全て悪い！」と私の責任 とした。</p>		<p>したい 肢体 あすべるがーしょうこうぐん アスペルガー症候群</p>
27	<p>しょうがっこう きょうし ちょうかくしょうがいしゃ こども よわ 小学校の教師が「聴覚障害者の子どもも弱い たちばどうし きょうりょく い ちょうかくしょうがいしゃ 立場同士、協力していかないと」と言い、聴覚障害者 こども はーふ こども よわ たちば へんけん の子どもやハーフの子どもは弱い立場という偏見があった。</p>		<p>ちょうかく へいこうきのう 聴覚・平衡機能 しえんしゃ (支援者)</p>
28	<p>じぞうぼん なかま い ちか き 地蔵盆の仲間に入れてもらおうと近づくと「〇〇が来た！あいつ へん あそ のろ ひとり い ほか こ 変やからあいつと遊んだら呪われる！」と一人が言い、他の子ども わあっ い に はなし おや たんにんきょうし ワアツと言いながら逃げた。その話を親が担任教師にすると、 「その子たちがそう感じたんでしょ。言った言葉は良くないけど ぼうりょく い 暴力をふるったわけではないでしょう」と言われた。</p>	<p>がっ こうない じどう けいはつ 学校内における児童への啓発を にちじょうてき およ きょうし きょういく 日常的にする。及び教師への教育 ただ こうきのう ばあい むずか (但し高機能の場合もあるので難しさも ある)</p>	<p>はったつ こうじのう 発達・高次脳 じへいしょう 自閉症</p>
29	<p>でんしゃない しがく しょうがくせい ゆび ひと 電車内で私学の小学生に指さして「この人おかしいんや い おやこどうせき びっくり こども つうがっこう で」と言われ、親子同席であったが、ビックリして子供に通学校 めい き せい いっぱい 名を聞くのが精一杯であった。</p>	<p>ちいき がっこう かよ しがく ひと 地域の学校に通っていない(私学)人に しょうがいしゃ けいはつ くだ も障害者について啓発して下さい。</p>	<p>ちてき しえんしゃ 知的(支援者)</p>
30	<p>せんもんがっこう しょうめいこうがく じっしゅう かお きも わる 専門学校の照明工学の実習で、「顔が気持ち悪い」 たすう せいと たんとう せんせい えいぞう うつ ぼく こと と、多数の生徒、担当の先生が、映像に映っている僕の事 なんにち なんかい い で、何日も、何回も、言った。</p>		<p>ちてき 知的 せいしん 精神</p>

31	<p>だいがく しょくぎょうくんれん どうきゅうせい わし しゃちょう 大学の職業訓練の同級生が、「ワシが社長なら まえ さいよう まえ い はいじよ お前なんか採用せんわい！お前はどこ行っても排除されるね。 しょうがい い 障害ゆえにね。」と言った。</p>		<p>したい 肢体 あすぺるがー アスペルガー しょうこうぐん 症候群</p>
32	<p>せんもんがっこう ていきしけん くらす ひと せいせき ひく 専門学校の定期試験でクラスの人が、成績の低かった おな くらす ひと まえ ま 同じクラスの人に、「〇〇は、あれやのに、お前、〇〇に負けたんや ぞ。」と、〇〇が知能が低い事を示して、言った。</p>		<p>ちてき 知的 せいしん 精神</p>
33	<p>しょうがっこう げこうちゅう ねんせい おとこ こ にん 小学校の下校中、6年生の男の子(3人)にかばんに はい え ぐ しゃどう ほう な 入っている絵の具を車道の方に投げられた。</p>	<p>いろいろ ひと あ まえ よ なか 色々な人がいるのが当たり前の世の中に にんげん そだ こと だいじ なるには人間を育てる事が大事。</p>	<p>ちてき かぞく 知的(家族)</p>